

平成 21 年度再評価対象事業一覧表 (再評価実施後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)
 (対象：平成 16 年度再評価実施事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト縮減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)
20	再評価時点 H16	武雄川 広域基幹河川改修事業 事業主体：県 事業地：武雄市	河道拡幅などの整備や障害構造物(橋梁、堰等)の改築により洪水時の流れを改善し、流域の浸水被害の軽減を図る。 (採択要件) 洪水被害防止区域に存する家屋数が200戸以上	全体事業費：21.8億円 改修延長：1,840m 工期：H7～H21 計画流量：90m ³ /s 計画治水安全度 ^{特記} ：1/10 事業内容：掘削・築堤 護岸 橋梁 6基 堰 3基 特記)10年に1回程度の確立で発生するような洪水が安全に流下するような河川改修を行う。	工事は、国道34号上流から上西山橋下流まで完成している。 用地取得は、上西山橋関連用地を除き第一淵ノ尾橋下流までの区間が完了している。 今後、これより上流部の用地取得を行う。 橋梁 2基完成 堰 1基完成 H15末進捗率 37.4% (年平均進捗率4.2%)	(過去の災害実績)H5.8 浸水戸数 床上 60戸 床下 167戸 浸水面積 331ha (地域の状況) 流域内では民間宅地開発が行われており、浸水被害防止は重要となっている。 また、国道34号整備進捗に伴い一層の宅地開発が進むものと思われ、今後とも治水対策が必要である。	事業採択時と比較し、費用対効果の要因の大金な変化はない。 現在(B/C) 1.6	(コスト縮減策) 護岸の裏込材や堤防天端の採石散布に再生クワッシャーを積極的に利用する。	10年以上継続	継続
	現時点 H21	武雄川 広域河川改修事業 事業主体：県 事業地：武雄市		全体事業費：21.8億円 改修延長：1,840m 工期：H7～H26 計画流量：90m ³ /s 計画治水安全度：1/10 事業内容：掘削・築堤 護岸 橋梁 6基 堰 3基	工事は、国道34号上流から上西山橋下流までの区間と第一淵ノ尾橋が完成している。 用地取得は、一部区間を除きほぼ完了している。 改修L=600m完成 橋梁 3基完成 堰 1基完成 H20末進捗率 48.9% (事業費ベース) (年平均進捗率3.5%)	(過去の災害実績) 同上 (地域の状況) 流域内では民間宅地開発が行われており、浸水被害防止は重要となっている。 また、JR佐世保線連続立体交差事業(平成21年度完了)に伴い一層の宅地開発が進むものと思われ、今後とも治水対策が必要である。	最新のマニュアルに基づき、費用対効果(B/C)を算出した。 一般資産被害軽減額 農作物、公共土木施設等 B=3,903.2百万円 総費用額 C=2,729.3百万円 現在(B/C) 1.4	(コスト縮減策) 護岸の裏込材や堤防天端の採石散布に再生クワッシャーを積極的に利用する。	再評価実施後5年 が経過	平成2年等の洪水被害を軽減するために、流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し地域住民の安心・安全を確保するためには、当事業の継続が必要である。
	理由等				・橋梁架替に伴う調整に時間を要したことや行財政改革等の予算縮減を受け年度事業費が減となったことによる工期延長。					

